

G113		農業生物学	
英名科目名	Agricultural Biology		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1425 FAX : 075-705-1582		
担当教員	寺地 徹・野村 哲郎 (生命科学部)		
開講期間	2021年04月15日 (木) ~ 2021年07月29日 (木) 4 講時 15時00分 ~ 16時30分(毎週木曜日) 開講 2021/04/29 (木・祝) 休講 2021/05/06 (木) 開講 2021/07/22 (木・祝)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	木曜日 4講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員	60		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	定期試験の成績と平常点 (レポート、小テストなど) によって評価する		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>農業をより高度化するためには、対象としている動植物の特性と、それに関連する生命現象を深く理解する必要がある。本講義では、農業に用いられる代表的な動植物について、生命科学の視点から解説する。</p> <p>我々の食生活を支える動植物について生命科学の側面からの基礎知識を身に付けることを到達目標とする。</p>			
講義スケジュール			
第01回 野生植物の栽培化 第02回 栽培化後の改良とその成果 第03回 農業生物としての植物：イネ科の作物 第04回 農業生物としての植物：アブラナ科の作物 第05回 農業生物としての植物：マメ科の作物 第06回 農業生物としての植物：ユリ科の作物など 第07回 わが国と世界の農業の現状と課題 第08回 バイオテクノロジーを用いた植物の新しい改良方法について 第09回 野生動物の家畜化 第10回 家畜化後の改良とその成果 第11回 農業生物としての動物：ウシ 第12回 農業生物としての動物：ブタ 第13回 農業生物としての動物：ニワトリ 第14回 動物遺伝資源の管理 第15回 わが国と世界の畜産の現状と課題			
教科書	なし (適宜、資料を配布する)		
参考書	なし		